

平成26年度

文教大学付属中学校
入学試験問題

《国語》

《注意事項》

1. 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。
2. 問題は 一 から 三 まであります。
3. 解答の字数は 、。「」を含みます。

— 1 —
次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

植物たちが、からだや若い実を守る姿のわかりやすい例として、トゲをもつことがあります。「動物が近寄ってこないように」、あるいは、「近寄ってきた動物がかぶりつかないように」との願いを込めて、鋭いトゲを身につけている植物が多くいます。その代表の一つがバラです。

バラのトゲは、植物学的には、「茎の表皮の一部分が突起してきて、硬くなったもの」とされています。しかし、昔から、「なぜ、バラにトゲがついているのか」という疑問がもたれ、トゲの役割や起源に興味がもたれています。

バラのトゲの役割について、ギリシャ神話にある言い伝えを聞いたことがあります。正確でないかもしれませんが、紹介します。ある女神が、恋人を亡くし、悲しみにくれて呆然とし、バラ園の中を、白い花を咲かせるバラを踏みつけながら、歩きまわりました。足にバラのトゲが刺さり、足は傷だらけになり、真っ赤な血がぼたぼたと流れ出しました。たちまち、白いバラの花が真っ赤に染まりました。その後、このバラ園には、真っ赤なバラが咲くようになったとのこと①です。この話によると、バラのトゲは赤い花を生み出す役割を担ったことになりました。

バラのトゲの起源についても、ギリシャ神話の言い伝えを聞いたことがあります。ある女神が子どもをつれてバラ園に遊びに行きました。バラの花があまりにきれいだったので、子どもは花にキスしようとして唇を近づけました。ところが、花の中にはハチがいたのです。近づいてくる唇にびっくりして、ハチは唇を針で刺しました。子どもが刺されて怒った女神は、ハチを捕まえ、ハチのからだから針を抜き取り、バラの茎につけました。その後、バラには、トゲが生えるようになったとのこと②です。この話によると、バラのトゲの起源は、ハチの針ということになります。

昔から、バラのトゲには興味もたれてきたので、こんな話がまことしやかに語られたのでしょう。しかし、現在でも、バラのトゲには、興味もたれています。特に、子どもたちには、ふしぎがられます。

あるとき、小さい子どもから「なぜ、バラには、トゲがあるのですか」という質問を受けたことがあります。ふつうなら、「バラは、枝を折られたり、花を取られたりしないように、そして、動物にからだを食べられないように、鋭いトゲでからだを守っているのです」と、答えます。

でも、そのときの子どものまなざしは真剣で、「どんな答えが来るのだろう」とじつと見つめるようでした。その様子を見ると、そんなに
③ あじけない答えをすぐにするのがためらわれ、「どう思うの」と聞いてみました。

その子は、「きれいな花を咲かせるバラが、痛いトゲをつけていて、かわいそうだ」と答えました。「なぜ、バラには、トゲがあるのですか」という簡単な質問に、きれいな花とひどいトゲの不釣り合いな組み合わせへの疑問が込められているのです。子どもは、トゲのあるバラを

☐ X 感じているのです。

答えは決まっていますが、子どもたちの質問には、その意味をよく理解するだけでなく、「子どもたちの気持ちを察してから答えないといけない」と思いました。子どもたちは、やさしい目と、☐ X 感じる心で、植物を見ているのです。

そんなとき、「大人があまりにそつけない答えをすると、植物をやさしく見る目を摘み取ってしまったたり、植物を☐ X 感じる心を傷つけたたりすることになる」と、ハッとしました。ひよつとすると、私たち大人が考えている答えも、「それが正しい」と思っているだけかもしれないからです。

☐ A 「バラは、枝を折られたり、花を取られたりしないように、そして、動物にからだを食べられないように、鋭いトゲでからだを守っているのです」という答えを伝えねばなりません。植物たちが自然の中を自分のからだを守りながら生きているという「すごさ」を理解してもらわねばならないからです。☐ Y は、その「すごさ」の象徴だからです。

とりあえず、「バラは、自分のからだを守るために、自分でトゲを生やしはじめたのかもしれない。それとも、誰かに頼んで、つけてもらっているのかもしれないね」と答えました。でも、子どもの反応は乏しかったです。そこで、「ひよつとすると、バラがあまりにきれいな花を咲かせるので、腹を立てた何者かが、うらんでつけたのかもしれないね」とつけ足しました。子どもの顔が少しほえんだように感じました。その子は、「なぜ、バラには、トゲがあるのですか」と聞きつつ、「バラの花があまりにきれいすぎるので、それを嫉妬した何者かがあんなトゲをつけたのだろうか」というような思いもかけない想像をしていたのかもしれない。

「バラは、トゲのおかげで、からだを守りながら生きているんだよ。でも、昔からついているので、いつごろからだのようにして、トゲがついたのかはよくわからないですよ」と、子どもの豊かな想像力をしぼませないように答えておきました。

「美しいものには、トゲがある」といわれます。これは、バラの美しく目立つ花と鋭いトゲを意識したものです。しかし、バラほど美しく

ない花を咲かせる植物でも、葉や茎にトゲをもつ植物は、意外と多くあります。トゲは植物たちがからだを守る武器の一つになるからです。

☐ B 「美しくなくても、トゲはある」のです。

(田中修『植物はすごい』)

問1 — ①「バラのトゲは赤い花を生み出す役割を担った」について、その理由を六十字以内で説明しなさい。

問2 — ②「まことしやかに語られた」とはどのような意味ですか。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 本当のことをそのまま語られた

イ ゆるがない自信をもって語られた

ウ 真実とはまるで違うことを語られた

エ いかにも本当らしく語られた

問3 — ③「あじけない答え」とは何を指しますか。「という答え」に続くようにぬき出し、はじめと終わりの五字を書きなさい。

問4 ☐ X に共通して入る語として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 懐かしく イ 素直に ウ いとおしく エ 不満に

問5 ☐ A、☐ B に入るものとして最も適切なものをア～エから選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ ところで ウ そして エ つまり

問6 — a～dの「の」中で、種類が他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問7

Y

に入る適語を本文中から五字でぬき出しなさい。

問8 次の各文のうち、本文の内容とあっているものには○を、間違っているものには×をつけなさい。

ア 昔から、バラのトゲは人々に興味をもたれてきた。

イ バラのトゲについての質問は、子どもの豊かな想像力から発している。

ウ 実際にもともとバラにはとげがなく、あとからトゲのあるものが繁栄した。

エ 美しいかどうかに関わらず、身を守るためにトゲをもつ植物は多くある。

二

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

ニコライ鉄道のとある駅で二人の友人が A 出くわした。一人は太っちょ、もう一人はやせっぽちだった。太っちょは今しがた食事を終えたばかりで、その唇はうっすら脂を帯び、熟したサクランボウのようにてかてか光っていた。男からは シェリー酒やフルール・ドランジユの芳しい匂いがした。片ややせっぽちのほうは今しも車両を降りたばかりで、トランクや包みやボール箱を B 抱えていた。男からは ハムやコーヒীর搾り滓が匂ってくる。やせっぽちの背後からは尖ったあごをした、やせぎすの女性、つまりこの男の奥さんと、目をぱちくりさせたひよろりとした中学生、つまりはこの男の息子が顔をのぞかせていた。

「ボルフィーリーー！」やせっぽちを見つけて太っちょが歓声を上げた。「君かい？ 懐かしいねえ！ 久しぶりだねえ！」

「こいつは驚いた！」やせっぽちは X を丸くした。「ミーシャ！ 幼なじみのミーシャじゃないか！ どこにどうしていたんだい？」

二人の友は三度キスを交わし、涙に潤んだ目を相手に注いだ。二人とも感激のようすだ。

「久しぶりだな！」キスを交わすとやせっぽちは Y を切った。「思いがけないことだ！ 驚きだよ！ さあ、ぼくのことをよく見てくれたまえ！ 昔と男っぷりは変わらないだろ！ 相変わらずの色男だろ！ いやはや、まいったね！ で、君のほうはどうだい？ 金回りはいいかい？ 結婚はしたのか？ ごらんのとおり、ぼくは女房持ちさ……。これが家内のルイーザ、旧姓ヴァンツェンバッハ……。ルーテル教徒だ……。で、これが息子のナファナイル、中学三年さ。坊主、こちらは父さんの 幼なじみ。中学の同級生だ！」

ナファナイルはちよつと考えてから帽子を取った。

「中学校で一緒だったんだ！」とやせっぽちは言葉をついだ。「おぼえているかい、君がどんなあだ名だったか？ 君はお上の本に煙草で穴をあけたためにヘロストラトスというあだ名で、ぼくは告げ口が好きだったためにエフィアルテスと呼ばれていたつけ。ハッハッハ……。ガキだったねえ！ 何もこわがることはないんだよ、坊主！ さあ、もっと近くにおいで……。で、これがね、うちの家内さ、旧姓ヴァンツェンバッハ……。ルーテル教徒さ」

ナファナイルはしばらく考えてから父親の背後に隠れた。

「で、暮らしはどうかね？」太っちょは感激の体で友人を眺めながら訊ねた。「どこに勤めているんだい？ もう勤めあげたのかい？」
「まだ勤めているさ。八等官になって二年になる。スタニスラフ勲章も佩用している。俸給は雀の涙だがね、なんてことはないさ。家内は音楽を教えているし、ぼくはぼくで副業に木製の煙草入れを作っている。なかなかの物だぜ！ それを一ルーブルで売りさばっているわけさ。十個以上まとめて買ってくれた人には値引きもある。まあ、なんとか暮らしているさ。本省勤めをしていたんだがね、今度同じ省の課長としてここに配属になったんだよ……。自分ここに勤めるつもりさ。で、君のほうはどうなんだ？ まさか、もう五等官じゃないだろうな？」
④「ずいぶん見くびられたものだ」と太っちょは言った。「三等官を仰せつかっているよ……。星二つだ」
⑤やせつぽちはみるみる青ざめ、石のように固まってしまったが、やがてその顔は一面の笑みにおおわれた。顔といわず目といわず、ぱつと火花が散ったような感じだった。当人の体つきは背をこごめて、小さくなって縮こまってしまった……。トランクや包みやボール箱までもがしかめっ面をして縮こまった……。奥さんの尖ったあごはますますとんがり、ナファナイルは気をつけの姿勢を取って、上から下まで制服のボタンをきちんとかけた……。

「閣下、私は、その……。光栄に存じますです！ そのなんと言いますか、竹馬の友がかくも出世なさいまして！ ヒッヒッヒッ」
「よせやい！」太っちょは顔をしかめた。「なんだよ、その言い方は？ 幼なじみじゃないか。堅苦しい肩書きなんか抜きだよ！」
「とんでもございません……。何をおっしゃいます」とやせつぽちはますます身を小さくして、ヒヒヒと笑い声をたてた。「閣下のご配慮は、いわば、その、御神酒のようなものでありまして……。ご紹介いたします、こちらが息子のナファナイルでありまして、こちらが家内のルイーザ、そのルーテル教徒と申しますか……」

太っちょは抗弁しようとしたが、相手のやせつぽちの顔には恭順と甘い歓喜と甘酸っぱいいうやうやささが一面に広がっているの、
官は嫌気がさした。太っちょはやせつぽちから顔をそむけると、お別れに手を差し出した。
⑧

やせつぽちは三本の指をつかんで、深々と腰を折ると、「ヒッヒッヒッ」とお追従笑いをした。ナファナイルは気をつけの姿勢を取ったとたんに、帽子を落とした。三人が三人ともに意外な出会いに面食らっているようすだった。

(チエーホフ「太っちょとやせつぽち」)

(注)

※1 フルール・ドランジュ …… 香水の名

※2 ヘロストラトス …… 紀元前三五六年、自分の名を歴史に残そうとしてアルテミス神殿に放火した。

※3 エフィアルテス …… 紀元前四八〇年、ペルシア軍に寝返りスパルタ軍大敗の要因を作ったために「裏切り者」と呼ばれた。

問1 A、B に入る語をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア こつそり イ わんさか ウ ばったり エ ふらふら

問2 ①、②にある二つの句いの表現は、二人の登場人物のどのような違いを表していますか。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 健康な人物と不健康な人物
イ 裕福な人物と裕福でない人物
ウ 他者から好かれる人物と嫌われる人物
エ 悪事を働いている人物と正義感のある人物

問3 二つの空らん X、Y に入る語の組み合わせとして正しいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア X 口 Y 肩
イ X 顔 Y 口
ウ X 目 Y 口
エ X 目 Y 声

問4 ③「幼なじみ」と同じ意味の言葉を本文中から四字でぬき出して答えなさい。

問5 — ④「『ずいぶん見くびられたものだ』と太っちょは言った」にこめられている太っちょの気持ちとして、最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 自分が友人よりも早く出世することができているので、見下してやろうという気持ち。
- イ 自分が友人の予想よりもはるか上位に出世できているので、得意になっている気持ち。
- ウ 自分が大して出世できていないだろうと思っている友人に対して、腹立たしい気持ち。
- エ 自分がこんなに出世していることを知らない友人に対して、あわれに思う気持ち。

問6 — ⑤「やせっぽちはみるみる青ざめ、石のように固まってしまったが、やがてその顔は一面の笑みにおおわれた」という表情から読み取れるやせっぽちの気持ちの変化を、八十字以内で説明しなさい。

問7 — ⑥「御神酒のようなもの」とは、ここではどのようなものとして表していますか。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア たいそうありがたいもの
- イ 二人の仲をとりもつもの
- ウ 手に入りにくいもの
- エ 身分の差をこえるもの

問8 — ⑦「三等官は嫌気がさした」とありますが、ここで太っちょを「三等官」と表したのはなぜですか。次の文の空らんをうめる形で説明しなさい。

- 二人の関係が、（ ）ではなく、（ ）に変わったから。

問9 — ⑧「お別れに手を差し出した」には、太っちょのどのような気持ちがかめられていますか。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 次に君とまた会うときは幼なじみとして会おう。
- イ 次に会うときは君に私の部下となっていてほしい。
- ウ 君に友だちとして会うことはもう二度とないだろう。
- エ そんな顔をして君のことを出世させることはできない。

問10 本文についての説明として最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 幼なじみだった太っちょとやせっぽちとの会話を中心に、それぞれの立場が違っていった理由を回想をまじえながら細やかに描いている。
- イ 二人の身分や境遇の違いはつきりさせるために対句法や擬人法を多用し、幼なじみだった二人の感情のすれちがいを悲劇的に描いている。
- ウ やせっぽちの息子であるナファナイルの視点を中心に、二人の大人たちの行動や態度がだんだんと変わっていく様子を冷静に描いている。
- エ 幼なじみ同士の会話文と比喩表現を多用し、二人の感情がすれ違っていく様子を、階級社会への皮肉をまじえながらユーモラスに描いている。

三 以下の問いに答えなさい。

問1 後の□の中のひらがな漢字に直して（ ）に当てはめ、対義語を完成させなさい。

- ① 温暖 ↑↓ 寒（ ）
- ② 直列 ↑↓ （ ） 列
- ③ 現実 ↑↓ 理（ ）
- ④ 公的 ↑↓ （ ） 的
- ⑤ 安全 ↑↓ （ ） 險

そう し れい へい き

問2 次の空らんにつに体の一部分に関する言葉を漢字で書き、慣用句を完成させなさい。

- ① （ ） を光らせる …… きびしく見張ること。
- ② （ ） に余る …… 自分の力では解決できないこと。
- ③ （ ） がすく …… 心につかえていたものがとれること。
- ④ （ ） がすわる …… 覚悟かくごができること。
- ⑤ （ ） にかける …… 得意じまんげに自慢すること。

問3 次の――線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 旅行で三日間家をアける。
- ② ノートに楽譜を書きウツす。
- ③ 製品の品質をホシヨウする。
- ④ ガイトウで演説をする。
- ⑤ 中学生をタイシヨウとした本。

《訂正》

10ページ

三 問1

【誤】後の□の中のひらがな漢字に…

←

【正】後の□の中のひらがな漢字に…

